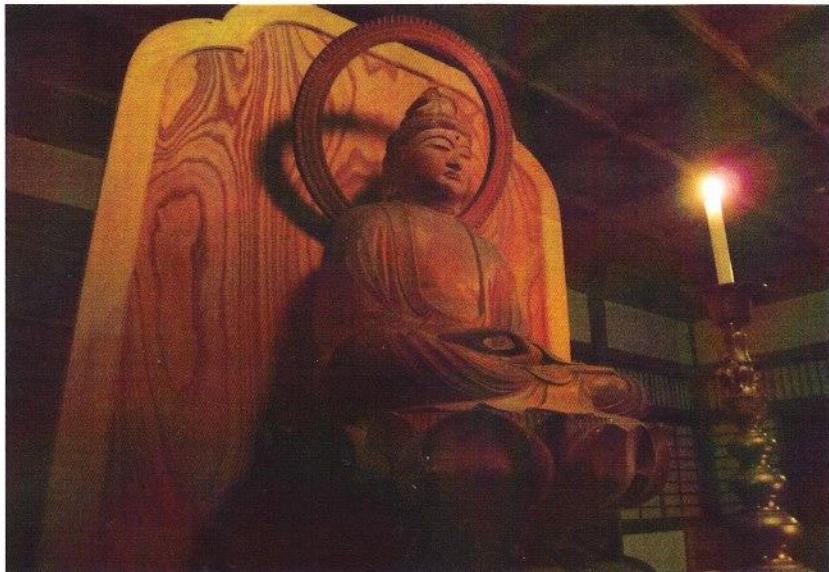


# 第47回 みちのく緑蔭禪のつどい



**通曹  
信青**

**い  
わ  
て**

## 御挨拶

岩手県曹洞宗青年会  
会長 清水 昌俊

発行者  
岩手県曹洞宗青年会  
清水 昌俊  
発行所  
岩曹青事務局  
〒028-2105  
岩手県宮古市和井内  
13-8-5 宝鏡院 内  
TEL: 0193-73-2333  
FAX: 0193-73-2334

題字／宗務所長  
海野義清老師  
編集／事業部  
印刷／盛岡市 橋本印刷

岩手県曹洞宗青年会主催の伝統行事であります「みちのく緑蔭禪のつどい」は、今年で四十七回目を迎え、盛岡市報恩寺様をお借りして、七月二十一日～二十二日の一泊二日で開催されました。

昨年は、東日本大震災の影響で中止となり、二年ぶりの開催ということを危惧しておりましたが、県内各地より二十三名の参禅者の方にご参加いたしました。沿岸からも多数参加され、その中には被災にあい盛岡へ避難されていました。私自身も震災後初めてお会いする

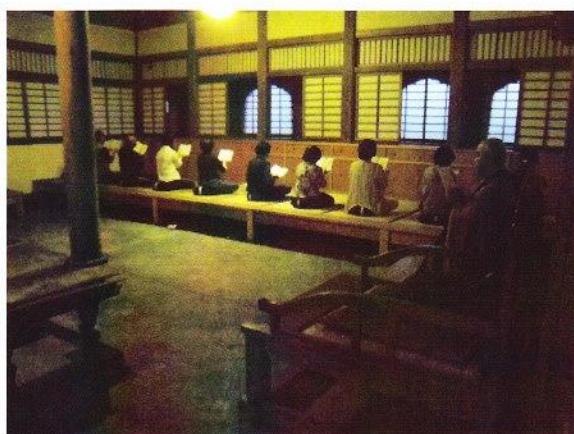
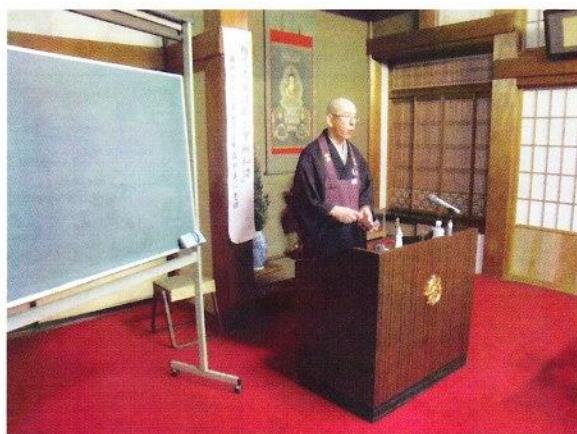
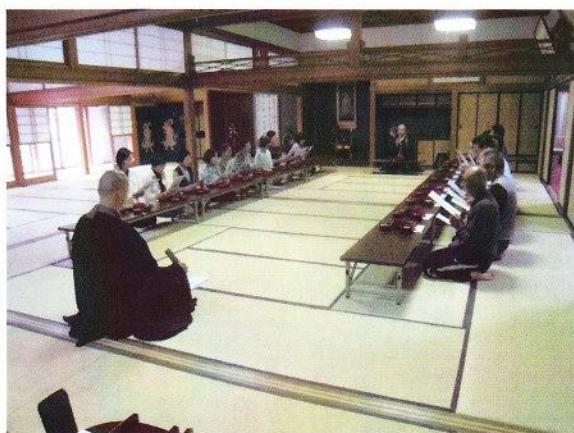
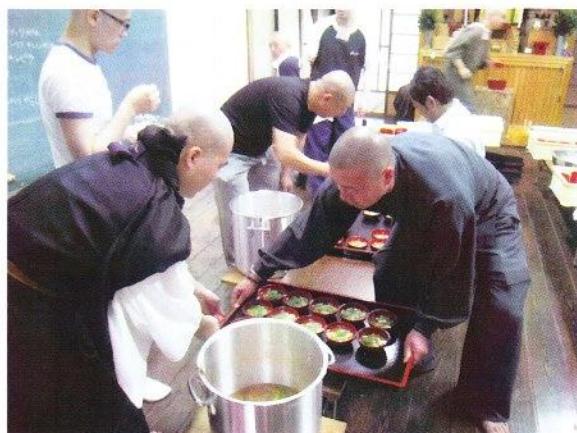
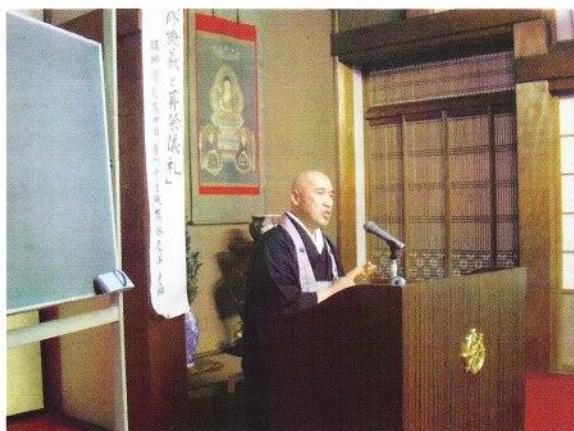
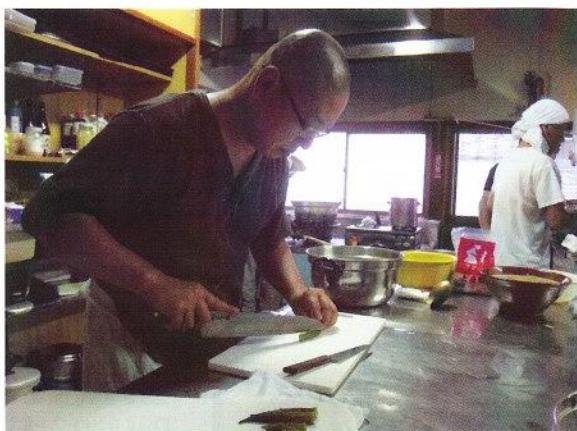
高田市普門寺住職 熊谷光洋老師を講師にお迎えし、「修證義と葬祭儀礼について」と題して、ご法話をいただきました。分かり易く、和やかに修證義の教えを説かれ、参禅者の皆様も感心されておりました。そして、晡時坐禅、晩課、薬石、夜坐、開浴と続き、午後九時開沈となりました。

二日目は、午前四時半振鈴で始まり、曉天、朝課、小食、作務の後、紫波町常光寺住職 森田英仁老師を講師にお迎えし、「梅花流詠讃歌三宝御和讃」と題して三宝御和讃の歌詞解説、並びに詠唱をご指導していただきました。最初は、恥ずかし

初日は、オリエンテーション、記念撮影、開講式、坐禅指導の後、陸前高田市普門寺住職 熊谷光洋老師を講師にお迎えし、「修證義と葬祭儀礼について」と題して、ご法話をいただきました。分かり易く、和やかに修證義の教えを説かれ、参禅者の皆様も感心されておりました。そして、晡時坐禅、晩課、薬石、夜坐、開浴と続き、午後九時開沈となりました。

来年に向けましては、従来からの懸案であります参禅者の減少や、今回の反省点を踏まえまして、より充実した「みちのく緑蔭禪のつどい」にしてまいりたいと思います。最後になりましたが、天藤全孝老師をはじめ、御山内の皆様、また講師をお勤めいただきました報恩寺住職 天藤全孝老師をはじめ、御山内の皆様、また講師をお勤めいただきました報恩寺住職 普門寺住職 熊谷光洋老師、常光寺住職 森田英仁老師、そして土日の檀務 御多端の中、御随喜いたしました会員諸兄に感謝申しあげ、御礼の挨拶とさせていただきます。

# 平成24年 緑蔭禪のつどい 写真集



# みちのく緑蔭禪のつどいに参加して



宮古市 東館 利吉

去る七月二十一日・二十二日に、盛岡市報恩寺で開催された「第四十七回みちのく緑蔭禪のつどい」に参加する機会を頂いた。初めての体験であったよりは、教義・教上を超えて、私達が日常生活で心すべき、思いやり・感謝といつたものを、すべての行動において、意を持つことであるよう思えた。食事の作法ひ

とつとつとも、忘れかけていたものが甦った思いで、研修全日程がとても意義深く感じた二日間であつた。

そもそも私が坐禅を意識したのは、数年前サラリーマンを退職し、これまでとは違って、時間的にも精神的にも余裕ができる一方で、ストレス無いストレスに少しばかり悩んでいた時に、坐禅をやつてみたいという單純なものであつた。幸いにはこの時間がとても

が、回を重ねることに緊張し、時間が経つのが、とても長く感じられたが、回を重ねることに緊張のゆるみから眠くもなり、この時の警策も心地良く感じるようになつている。

しかし心中は決して日常の雜踏から離れることはなく、坐禅を終えて家に帰つたら何をしようか、はた又、夕食のおかずにはいをはせる始末、とても坐禅の主旨とは縁遠いものとなつてゐるが、私はこの時間がとても

第一日曜日の定例坐禅会が寺で開催されることになり、早三年を経過中である。参加者はあまり多くはないのであるが、寺の本堂で厳肅な雰囲気の中で、住職から作法の指導を受け、慣れない姿勢

は無理に思える。話は変わるが、私は農家の長男に生まれ、先祖代々の仏を守る立場にある。このためであろうか、私の宗教感は先祖崇拜の意識が強く、今日自分がすることに対する先祖への感謝の念である。昨今では、先祖離れ・墓地離れの風潮が散見されるようと思う。あるお寺さんの墓地では、長い間墓参がされていないのであろうか？一定の猶予期間をおいて申し出がない場合は、無縁仏として処理する旨の、墓地管理者の表示がなされているのを見たことがある。立派な墓石に眠る仏が参拝されることはもない状況は本当に残念に思われるならぬ。

この度の「緑蔭禪のつどい」では、主催者の方々の細かい心遣いのもとに清々しい思いで研修を重ねることができた。私の坐禅感もいくらか深まつたようと思う。関係者の御配慮に感謝したい。本当にありがとうございました。

今日八月七日は来るお



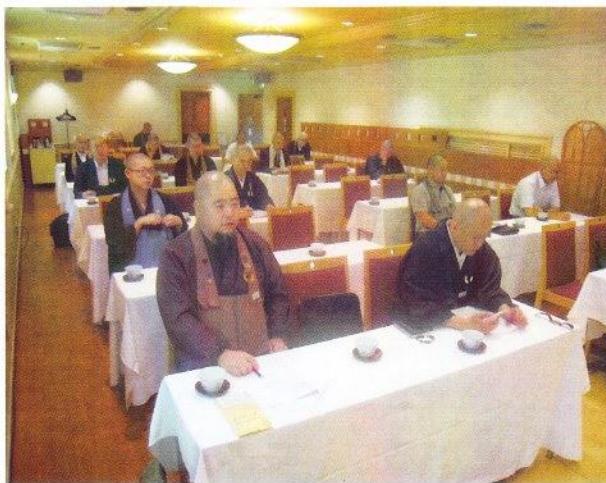
平成二十四年八月七日

盆に向けてお墓の掃除を済ませた。決して信心深いとは言えないのであるが、私なりに坐禅を通じて菩提寺の護持と先祖供養を厚きものに近づけられたらと思う。この度の「緑蔭禪のつどい」では、主催者の方々の細かい心遣いのもとに清々しい思いで研修を重ねることができた。私の坐禅感もいくらか深まつたようと思う。関係者の御配慮に感謝したい。本当にありがとうございました。

## 第一回教養セミナー

なぜ傾聴が必要なのか？

### （）傾聴を基本とした支援活動（）



九月十一日（火）午後  
二時より、盛岡市 盛岡  
グランドホテルアネッ  
クスにおいて、神奈川県  
相模原市 梅宗寺副住職、  
曹洞宗総合研究センタ  
ー委託研究員であられ  
る、館盛 寛行先生をお

迎えし、「なぜ傾聴が必  
要なのか？」（）傾聴を基  
本とした支援活動（）と  
題して、ご講演を頂戴致  
しました。

講演の中で先生は、ご  
自身がお通夜などで説  
法を続けてきた中で、自  
らもどかしい経験か  
ら、相互理解の重要性を  
痛感し、カウンセリング  
に興味を持ち始めたと  
いう、先生の原点につい  
てのお話からご講義が  
始まりました。

そして、主体となる相  
手が、どう考えているか  
を理解することがカウ  
ンセリングの基本であ  
り、そのためには、相手  
の話を聞かないと、そも  
そもの問題が何なのか  
がわからぬという事  
を、強く述べられており  
ました。

## 講師紹介

年会基幹事業委員会副  
委員長

梅宗寺副住職

・曹洞宗総合研究センタ  
ー委託研究員

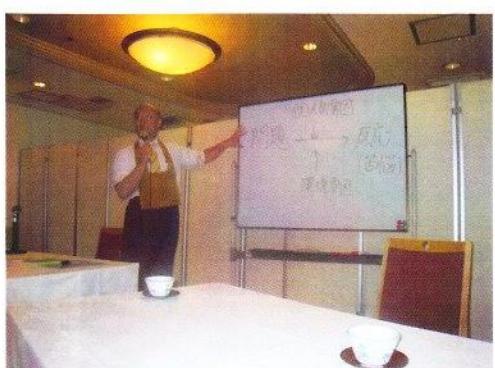
・日本カウンセリング學  
会会員

・教誨師

・観世ふおん相談員

・神奈川県第二宗務所布  
教師

## 著作・連載



### 館盛 寛行

（たてもり かんぎょう）

### 略歴

・1972年神奈川県生  
まれ  
・駒澤大学大学院博士後  
期課程仏教学専攻単位  
取得満期退学  
・大本山永平寺安居  
・元大本山總持寺講師補  
（カウンセリング担当）  
・第十八期全国曹洞宗青  
ター2011年）

『『人びとのこころに向き  
合うために』（曹洞宗總  
合研究センター 20  
10年）

『『自死に向き合う（い  
ま、私にできること）』  
（曹洞宗總合研究セン  
ター2011年）

# 10月31日親睦会・教区懇親会

一関総合体育馆Uドームにおいてフットサル大会、  
その後、蔵ホテル一関において懇親会が行われました。



第7教区青年会様のご厚意により、楽しい親睦会となりました。  
まことにありがとうございました。

旅行のことならなんでもご相談下さい  
お電話いただければ係員がおうかがいします



**Oshokotours** アショカワーズ

株式会社 岩手ビーエス観光

岩手県知事登録第2-86号 JATA協力会員  
岩手県旅行業協会会員

〒020-0016 盛岡市名須川町31-5  
TEL (019) 635-0303  
FAX (019) 635-0019

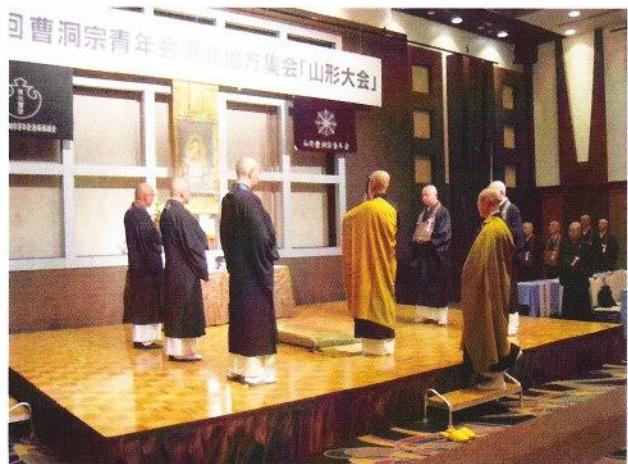
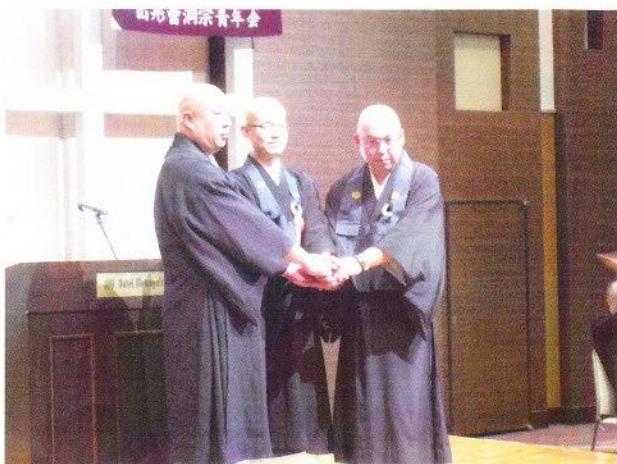
みちのく曹洞宗の古刹

## 奥の正法寺

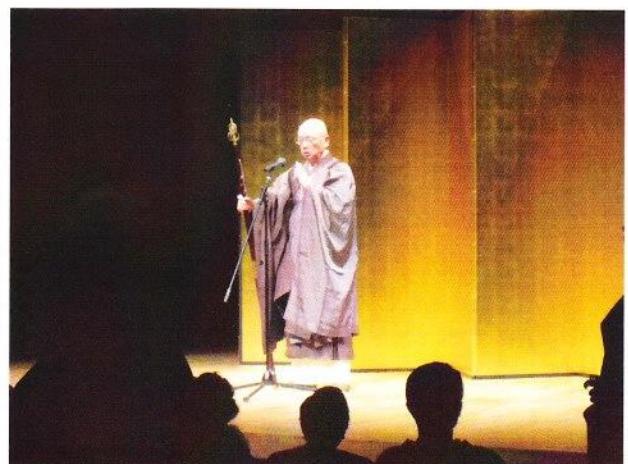
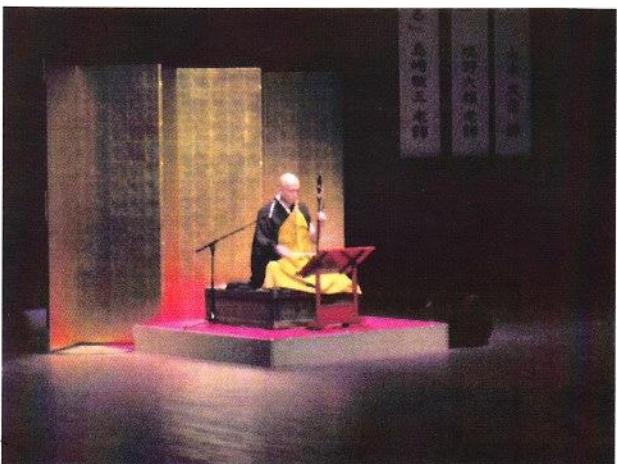
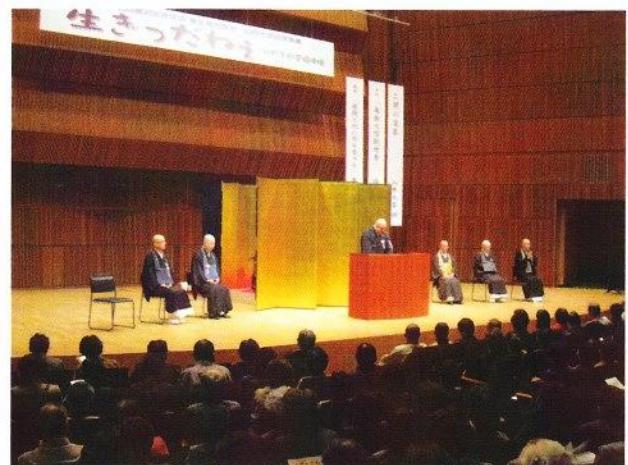
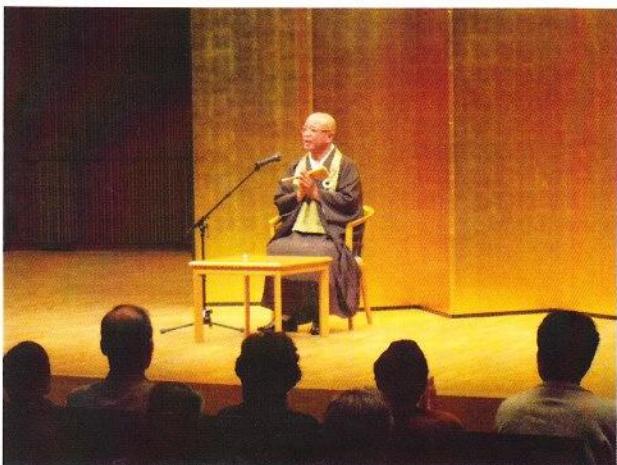
〒023-0101 岩手県奥州市水沢区黒石町字正法寺129  
TEL : 0197-26-4041 / FAX : 0197-26-4107

# 第37回 曹洞宗青年会 東北地方集会 「山形大会」

## 記念式典の部

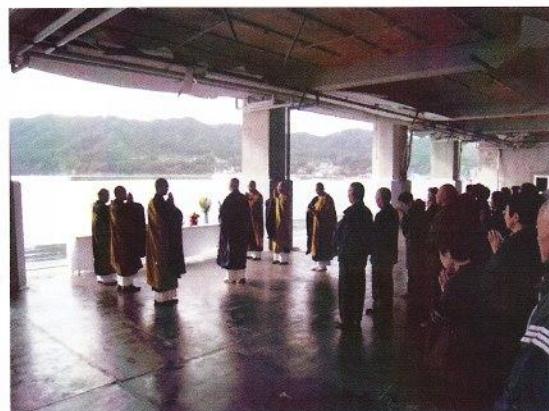
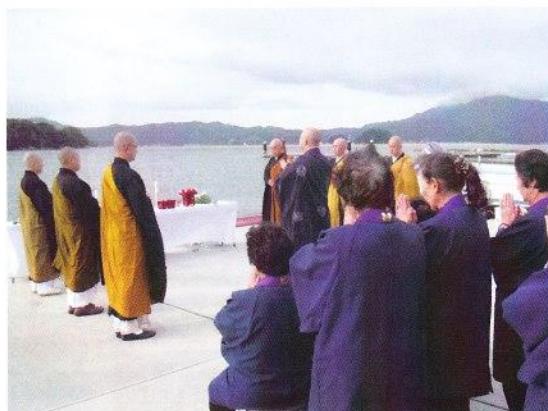


## 記念事業の部



# 山田町 海岸供養 10月11日

10月11日、山田町 海藏寺様と山田町の海岸において、岩曹青会員宗師を中心に、東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご供養法事がとりおこなわれました。



## 紙面広告募集のご案内

「曹青通信いわて」では、平成25年度発行予定の（92号・93号・94号）に掲載する広告を若干募集いたします。要項につきましては下記をご参照下さい。

掲載回数：平成25年度92号・93号・94号の計3回

掲載様式：名刺サイズ広告(各社にてご用意下さい)

掲載金額：全3回で3万円

募集制限：岩手県全県に渡り岩曹青とゆかりのある活動を行っている企業様。

安居者募集や観光促進を目的とした御寺院様。

募集期限：平成25年3月31日まで

掲載をご希望される企業様・御寺院様は岩曹青事務局までご連絡下さい。

岩手県曹洞宗青年会事務局

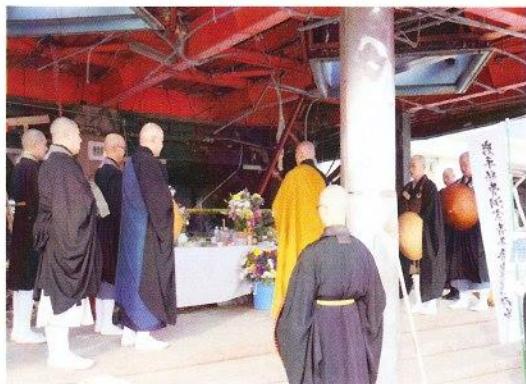
岩手県宮古市和井内 13-8-5 宝鏡院 内

慶徳 雄仁

電話 0193-73-2333

FAX 0193-73-2334

# 東日本大震災被災地慰靈行脚



十一月十九日（月）、陸前高田市内を中心に、会員宗師による慰靈行脚が行われました。



陸中海岸国立公園  
陸中海岸の靈場

## 釜石大觀音

釜石市大平町釜石大觀音 ☎ 0193-24-2125  
釜石市大只越町石応禪寺 ☎ 0193-22-4080